

# Racing Topics

## ★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

### ●安田記念はダノンキングリーが優勝

6月6日(日)に行われた安田記念(G I)では8番人気のダノンキングリー(牡5歳/美浦・萩原清厩舎)が優勝、G I初制覇を果たしました。単勝払戻金4760円は、2000年フェアリーキングブローンの3990円を上回り、同レースの式別最高額を更新。またダノンキングリーは前走・天皇賞(秋)で12頭立ての12着に敗れており、前走最下位から巻き返してのJRA・G I勝利は、1984年のグレード制導入以降、JRA所属馬としては初のこととなります。

### ●平沢健治騎手がJRA通算100勝を達成

6月5日(土)の3回東京1日・第1レースではセプタリオンが1着となり、同馬に騎乗した平沢健治騎手(栗東・フリー)は、現役95人目となるJRA通算100勝(1488戦目)を達成しました。

### ●新種牡馬としての初勝利はアメリカンペイトリオット

6月5日(土)の3回東京1日・4回中京1日から、今年度の2歳新馬(メイクデビュー)がスタート。6月6日(日)の4回中京2日・第5レースでは、アメリカンペイトリオット産駒のプレスレスリー(牝/栗東・藤岡健一厩舎)が1着となり、新種牡馬産駒の初勝利を飾りました。アメリカンペイトリオットは、2017年メーカーズ46マイルS(米G I)を制するなど14戦5勝の成績を残し、現在は北海道日高町のダーレー・ジャパン スタリオンコンプレックスに繋養されています。

### ●2021年度は顕彰馬の選定なし

競走成績が特に優秀だった馬など、中央競馬の発展に貢献した馬を選定する“顕彰馬”は、報道関係者による選定投票が毎年行われており、本年度は、2000年4月1日から2020年3月31日の間に競走馬登録を抹消された馬を対象として実施(投票者数203名/1人あたり最大4頭まで投票可)されました。投票者数の4分の3以上(今回は153票以上)の票を得ることが選定基準となっていますが、キングカメハメハが140票、プエナビスタが121票などとなり、基準を満たした馬はいませんでした。

## ★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

### ●アランパローズが東京ダービーを逃げ切る【各地の主要3歳重賞】

東京ダービー(6月9日、大井、2000<sup>円</sup>)は、先手を取った1番人気のアランパローズ(牡、父ヘニーヒューズ)が後続を $\frac{3}{4}$ 馬身振り切り、全日本2歳優駿以来となる4度目の重賞制覇。九州ダービー栄城賞(5月30日、佐賀、2000<sup>円</sup>)は、2番手から3コーナー過ぎに先頭に立った重賞3勝馬トゥルスウィー(牝、父ヴァンセンヌ)が4馬身差で完勝、単勝1.3倍の支持に応じて佐賀二冠を達成しました。兵庫ダービー(6月10日、園田、1870<sup>円</sup>)は、中国から直線では大外を通過して伸びた4番人気のスマイルサルファー(騾、父プリサイスエンド)が3頭横一線の大接戦をハナ差で制し、重賞初制覇を果たしています。

### ●ウェルドーンらが出走、6月16日の関東オークス(川崎)

関東オークス(Jpn II、3歳牝馬、6月16日、川崎、2100<sup>円</sup>)は、牡馬相手に鳳雛Sを制しているウェルドーンが筆頭格、以下ランスオブアース、ケラススヴィア(浦和)、ベルヴォーグ、リフレイムの順に有力視されます。

※最新の開催情報は各主催者のホームページ等でご確認ください。

## ★海外競馬ニュース 文・秋山響★

### ●G 1英オークス～ディーブインパクト産駒スノーフォールが圧勝

6月4日にイギリスのエプソム競馬場で行われたG 1英オークス(3歳牝、芝2410<sup>m</sup>)は、L.デットーリ騎手とのコンビで臨んだディーブインパクト産駒の日本産馬スノーフォール(愛A.オブライエン厩舎)がレース史上最大着差となる16馬身差で圧勝しました。スノーフォールは昨年は7戦して1勝でしたが、今年初戦となった前走5月のG 3ミュージドラS(芝2050<sup>m</sup>)を3馬身 $\frac{3}{4}$ 差で快勝して重賞初制覇を果たしていました。ディーブインパクト産駒のイギリスクラシック制覇は2018年にG 1英2000ギニーを制したサクソソウオリアー(日本産馬)に続く2頭目です。

### ●G 1英ダービー～アダイヤーが制す

英オークスの翌日に同じエプソム競馬場で開催されたG 1英ダービー(3歳牝、芝2410<sup>m</sup>)はA.カービー騎手を背に先行したアダイヤー(牡、父フランケル、C.アップルビー厩舎)が4馬身半差で快勝。重賞初制覇を大舞台で果たしています。

### ●G 1ベルモントS～エッセンシャルクオリティが優勝

6月5日に米国ニューヨーク州のベルモントパーク競馬場で争われたG 1ベルモントS(3歳、ダート2400<sup>m</sup>)は、L.サエス騎手が騎乗した昨年の米最優秀2歳牡馬エッセンシャルクオリティ(牡、父タピット、B.コックス厩舎)が優勝しました。日本のフランスゴデイナは直線で失速して最下位8着に終わりました。